

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひまわり児童ファーム・つぼみファーム		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 1日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々職員同士の連携を図ることで、子どもたちそれぞれの特性や発達段階に合わせた柔軟な対応をとっている。	月に一度のミーティングの他にも職員同士で些細な子どもたちの変化など意見交換をしやすい環境を整え、統一した関わりができるように努めている。	気になる児童について個別にケース検討できるような機会を作っていく、専門的な支援の質の向上を図る。そのために積極的に内部・外部での研修を受講する機会を設ける。
2	子どもたちの日々の様子が分かるように毎日ブログを更新したり、連絡帳や送迎時の申し送りを丁寧に行っている。	毎日ブログを更新することで、日々どのような様子で過ごしているのかを分かりやすく発信している。連絡帳だけでは伝えきれない部分は直接送迎時に申し送りを行い、保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	保護者のニーズに合わせて、ホームページや年に数回出すおたよりの内容を検査する。
3	敷地内に大きなガレージがあるので、安全に身体を動かせる環境が整っている。	天候に左右されず運動できる場を提供することができるので、発達段階に応じて安全面に配慮しながら、遊びや運動を取り入れている。	安全対策の見直しを絶えず行い、怪我の無いように環境整備に努める。子どものニーズに応じて、より楽しく過ごせるように遊び道具の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	パニック時など個別に対応できる環境が不十分であること。	限られたスペースの中で活動を行っているため、個別に落ち着いて過ごせる空間の確保は難しい状況である。	パテーション等を使用してできるだけ刺激を減らし落ち着くことができる空間を作るよう工夫を行う。
2	情報発信について、保護者のニーズに十分に答えられていない部分がある。	保護者が知りたい内容を十分に把握しきれていないことや、保護者のニーズを直接把握する機会が限られていると考えられる。	今回実施したアンケート等を活用し、ニーズの把握に努める。さらに懇談時に知りたい情報や困りごとを確認する機会を設ける。
3	地域との交流、保護者同士のつながりの機会が少ない。	日々の支援を優先する中で、交流の機会を計画・実施できていないことや、保護者のニーズや参加しやすい形式の把握が十分でないことが考えられる。	地域資源を活用し保護者同士が関わるができるような行事や研修の機会を設けるよう努める。継続的に実施できるものになるよう工夫をし、交流を希望しない保護者への配慮も行い、それぞれの意向を踏まえた対応を行う。